

平成27年第2回相馬市総合教育会議議事録

1 開催日時

平成27年9月30日(水)

開会 午後3時30分 閉会 午後4時35分

2 開催場所

相馬市役所 3階 庁議室

3 出席した構成員

相馬市長	立谷秀清
教育委員長	宗形明子
教育委員	小畑強子
教育委員	森陽子
教育委員	関根進
教育長	堀川利夫

4 欠席した構成員

職務代理者	太田孝泰
-------	------

5 事務局関係

(相馬市)

企画政策部長	橘川茂男
企画政策課長	横山哲也
企画政策課長補佐	荒川誠

(相馬市教育委員会)

教育部長	臺内吉重
生涯学習部長	渡部卓
総務課長	神戸伸一
学校教育課長	村田権一
総務課庶務係長	小関善之

6 傍聴人

なし

7 協議事項

- 1 重点的に講ずべき施策について
小中学校の統廃合について
相馬市地方創生総合戦略について
平成28年度重点事業について

8 議事の経過

1 開 会

2 市長あいさつ

3 協議

1 重点的に講ずべき施策について

小中学校の統廃合について

協議結果

相馬市立玉野小学校と玉野中学校の統廃合については、現時点で地域等から目立った反対意見もないようだが、最終的に外部諮問機関からの提言に対応できるような作業を進めていく。

統廃合の時期は、平成28年4月を要望する住民もいたが、早くても平成29年4月が現実的な時期である。

この会議での意見は、平成29年4月が相応しい時期と判断する。

具体的な地域からの要望等は、今後整理していく。

協議内容

- <立谷市長> 地域の意見に耳を傾け、通学手段等についても検討しなければならない。
- <小畑委員> 現在運行しているバスの時間帯等を整理して、考えてはどうか。
- <立谷市長> 現在運行している患者専用バスの運行管理を地元へ委託してはどうか。今後区長団体にも相談する。

相馬市地方創生総合戦略について

協議結果

相馬市地方創生総合戦略については、次の協議内容のとおりとする。

協議内容

- <立谷市長> 『各学校長の裁量で行っている100万円事業』について、子供に直接使われるような工夫をしていただきたい。
- 仮に、教員のスキルアップのための研修が必要であるなら、教育長とも、その内容について協議し、単独費による支出が可能かどうか、検討をしたいので、アイデアを出してほしい。
- ICTについては、これまで緊急雇用対策事業で取り組んできたが、この事業に係る人件費は対象にならないので、来年度はやらない。
- また、同じ事業を財源として相馬市が採用した臨時講師については、特別な予算がない限り継続する事は困難と考えている。
- しかし、特別支援教育に係る支援員の採用とは、別の問題なので、こちらは継続していきたいと考えている。
- この事について、意見はありますか。
- <堀川教育長> 臨時講師の配置は、県にも配置を要望している。また、小学校での外国語教育の講師を採用する予算と、教職員の研修に必要な経費はお願いしたい。
- <立谷市長> 外国語教育に必要な外国人講師3名と、教職員の研修については、一般財源での予算確保を考えている。

また、キャリア教育で子どもたちに職場体験をさせるためには、バス運行が必要であり、運転手の確保が大変な状況の中であるが、こちらの財源も同様に対応するので、バスの運転手や企業との連携等を教育委員会に願います。

スクール・ソーシャル・ワーカーは、相馬市が雇用するのではないのか。

<堀川教育長>

職場体験については、誘致企業との連携をするほかに、商工会議所にも願いますの考えです。

スクール・ソーシャル・ワーカーについては、県に配置を要望しても「配置は難しい。」との事ですが、市が雇用してもその費用は、県が100/100を負担するとの事でした。

ただ、その人を確保できるかが課題です。

<立谷市長>

全国的に不足が生じると考えている。なぜなら、臨床心理士の数が少ないため。

したがって、公務員を教育していく他に解決策はないと考えるので、皆様との意見は、その様に共通認識をいただきたい。

平成28年度重点事業について

協議結果

平成28年度当初予算に計上する新記事事業は『相馬市地方創生総合戦略について』での協議結果のとおりとする。

継続事業について、学校教育課長並びに生涯学習部長から説明のあったとおりとする。

協議内容

<立谷市長>

相馬駒焼の登窯については、まだ、内容が固まっていないが、相馬市の関わり方についても、検討しなければならない事と考えている。